

鳥取県感染症発生動向調査情報(月報)

令和6年3月15日(金)
鳥取県生活環境部衛生環境研究所

令和6年第5週から第9週までの患者報告の状況

1 報告の多い疾病(インフルエンザ/COVID-19 定点29、小児科定点19、眼科定点5、基幹定点5からの報告数)

今回(5週～9週)5週 (R6.1.29～R6.3.3)	前回(52週～4週)5週 (R5.12.25～R6.1.28)	前々回(47週～51週)5週 (R5.11.20～R5.12.24)
1 新型コロナウイルス感染症(1,572)[↑192]	1 インフルエンザ(1,790)	1 インフルエンザ(4,199)
2 インフルエンザ(1,334)[↓456]	2 新型コロナウイルス感染症(1,380)	2 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(950)
3 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(834)[↑186]	3 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(648)	3 新型コロナウイルス感染症(468)
4 感染性胃腸炎(714)[↑297]	4 感染性胃腸炎(417)	4 感染性胃腸炎(350)
5 咽頭結膜熱(106)[↑35]	5 咽頭結膜熱(71)	5 咽頭結膜熱(80)
6 その他(78)[↑31]	6 その他(47)	6 その他(84)
(合計 4,638)	(合計 4,353)	(合計 6,131)

※[]内は前回との比較を表す。↑は増加したもの、↓は減少したもの、数値は増減の件数である。

2 前回との比較増減

全体の報告数は4,638件であり、7%(285件)の増となった。

増加した疾病	減少した疾病
感染性胃腸炎 71%	インフルエンザ 25%
咽頭結膜熱 49%	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 29%	
新型コロナウイルス感染症 14%	

3 コメント

- インフルエンザは今シーズン3回目となるインフルエンザ注意報が3月13日に発令されました。シーズン始めはA型が多く確認されていましたが、1月下旬以降B型による集団感染事例が複数報告されており、今後の感染動向に注意が必要です。
新型コロナウイルス感染症は、感染のピークを越えたとみられるものの、感染力に変わりはないため、引き続き注意が必要です。
いずれも、手洗い、換気、場面に応じたマスク着用などの感染防止対策が有効です。
咽頭痛や発熱など体調が悪い場合や陽性が判明した場合は自宅で安静に過ごし、症状に応じて医療機関を受診される際は、事前に電話相談の上、受診しましょう。
- 県内全域にA群溶血性レンサ球菌咽頭炎警報を発令しています。手洗い、消毒、咳エチケット等の感染予防をお願いします。
- ノロウイルスなどによる感染性胃腸炎が増加しています。集団感染事例も確認されており、トイレやオムツなどの汚物処理の後や、調理、食事の前などには、手洗いを徹底しましょう。

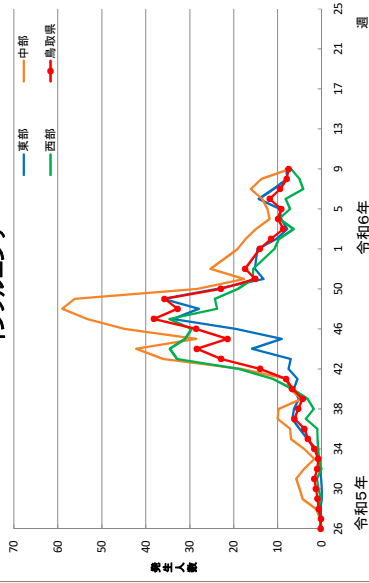
令和6年第5週～第9週の報告患者数

令和6年3月6日 作成

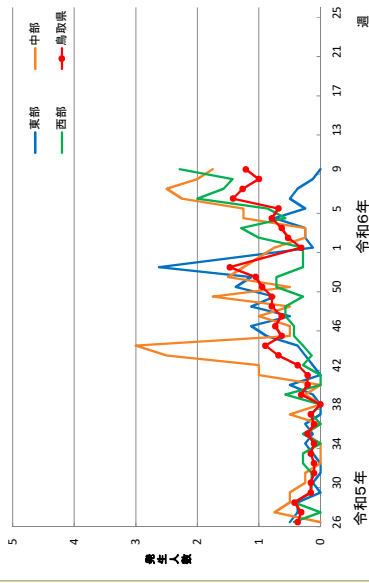
区 分	今回報告患者数 第5週～第9週(5週分)						前回報告患者数 第52週～第4週(5週分)				前々回報告患者数 第47週～第51週(5週分)				前回比 増 減	令和6年 患者数 累 計
	東部	中部	西部	計	増減	東部	中部	西部	計	東部	中部	西部	計			
	(12)	(6)	(11)	(29)		(12)	(6)	(11)	(29)	(12)	(6)	(11)	(29)			
インフルエンザ/COVID-19定点数	(12)	(6)	(11)	(29)		(12)	(6)	(11)	(29)	(12)	(6)	(11)	(29)			
1 インフルエンザ	609	377	348	1,334	-456	686	532	572	1,790	1,619	1,287	1,293	4,199	-25%	2,619	
2 新型コロナウイルス感染症 (COVID-19)	591	389	592	1,572	192	571	352	457	1,380	113	169	186	468	14%	2,749	
小児科定点数	(8)	(4)	(7)	(19)		(8)	(4)	(7)	(19)	(8)	(4)	(7)	(19)			
3 咽頭結膜熱	10	39	57	106	35	32	15	24	71	39	21	20	80	49%	149	
4 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	427	133	274	834	186	311	108	229	648	353	135	462	950	29%	1,337	
5 感染性胃腸炎	290	141	283	714	297	181	115	121	417	149	78	123	350	71%	1,078	
6 水痘	3	1	5	9	5	2	2	0	4	4	4	1	9	125%	12	
7 手足口病	7	1	9	17	3	8	2	4	14	21	13	5	39	21%	26	
8 伝染性紅斑	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	—	0	
9 突発性発疹	3	7	15	25	13	2	1	9	12	2	6	11	19	108%	34	
10 ヘルパンギーナ	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	1	0	1	—	1	
11 流行性耳下腺炎	0	1	3	4	3	0	0	1	1	0	0	0	0	300%	5	
12 RSウイルス感染症	8	1	4	13	9	2	1	1	4	0	0	3	3	225%	16	
眼科定点数	(2)	(1)	(2)	(5)		(2)	(1)	(2)	(5)	(2)	(1)	(2)	(5)			
13 急性出血性結膜炎	0	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	—	1	
14 流行性角結膜炎	2	0	2	4	-4	5	1	2	8	6	1	0	7	-50%	11	
基幹定点数	(2)	(1)	(2)	(5)		(2)	(1)	(2)	(5)	(2)	(1)	(2)	(5)			
15 細菌性髄膜炎	0	0	0	0	-2	1	0	1	2	0	0	1	1	-100%	2	
16 無菌性髄膜炎	0	0	2	2	0	1	0	1	2	3	0	1	4	0%	3	
17 マイコプラズマ肺炎	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	—	1	
18 クラミジア肺炎 (オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	—	0	
19 感染性胃腸炎 (病原体がロタウイルスであるものに限る。)	0	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	—	1	
合 計	1,952	1,091	1,595	4,638	285	1,802	1,129	1,422	4,353	2,310	1,715	2,106	6,131	7%	8,045	

地区別発生状況グラフ(定点当たり)

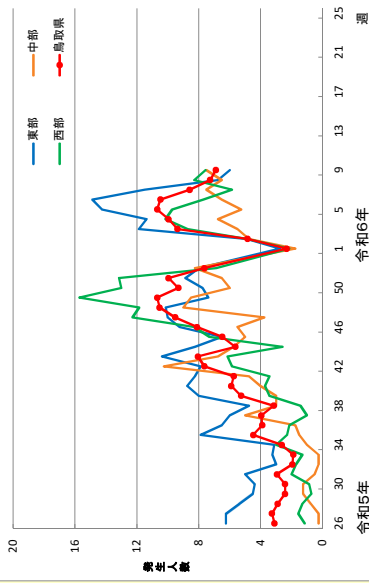
インフルエンザ



咽頭結膜熱

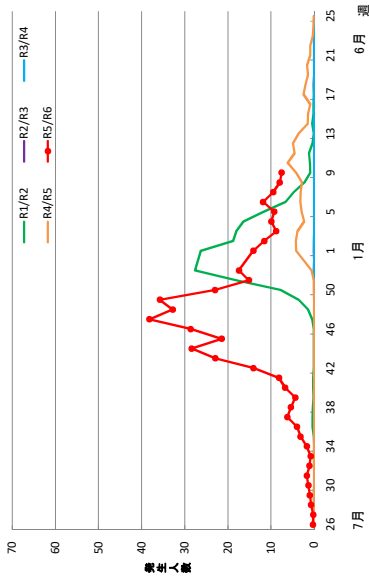


A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

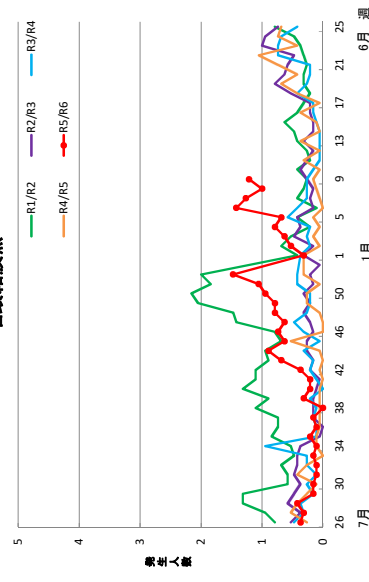


年次別発生状況グラフ(定点当たり)

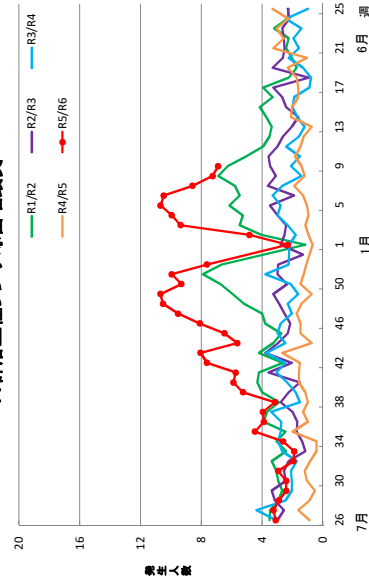
インフルエンザ



咽頭結膜熱

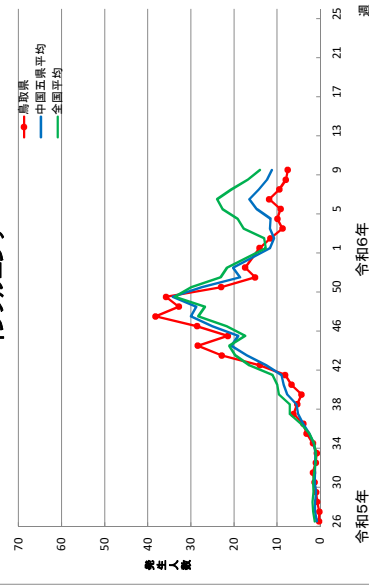


A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

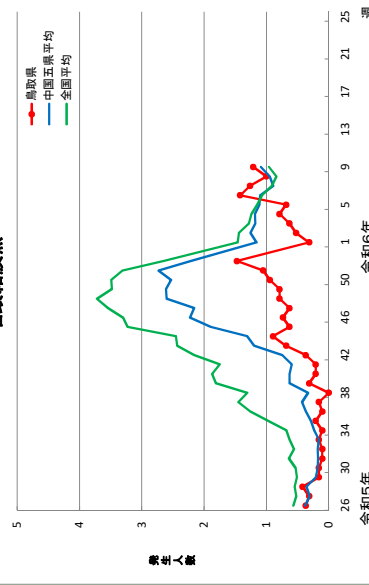


中国五県平均・全国平均との比較(定点当たり)

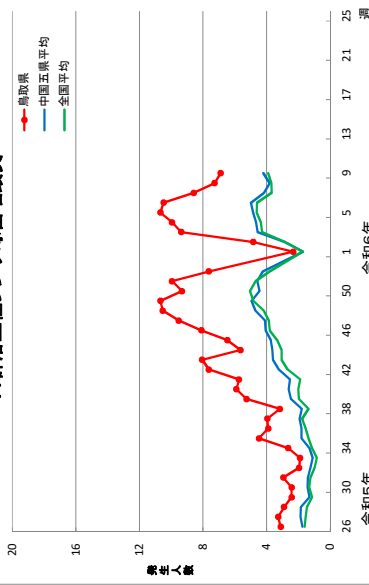
インフルエンザ



咽頭結膜熱

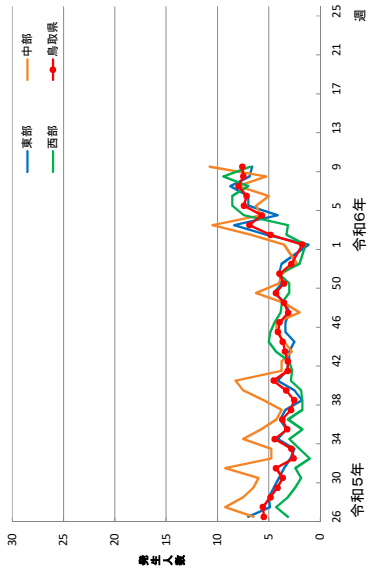


A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

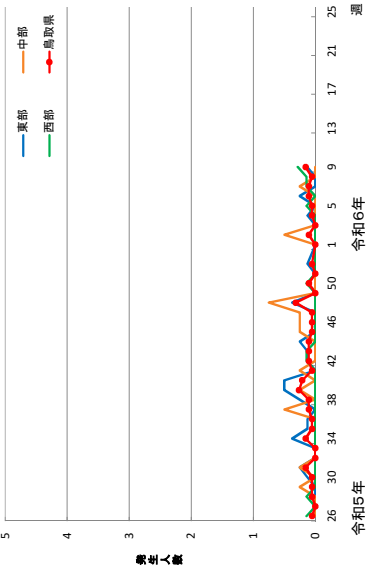


地区別発生状況グラフ(定点当たり)

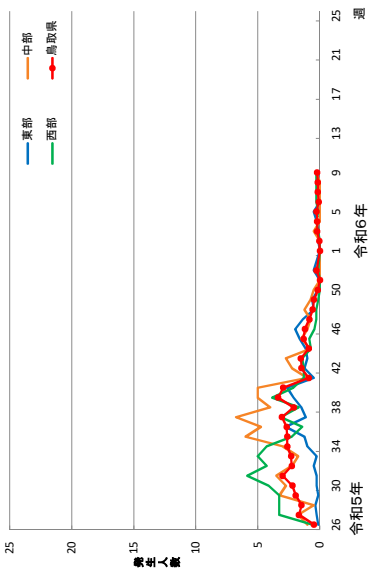
感染性胃腸炎



水痘

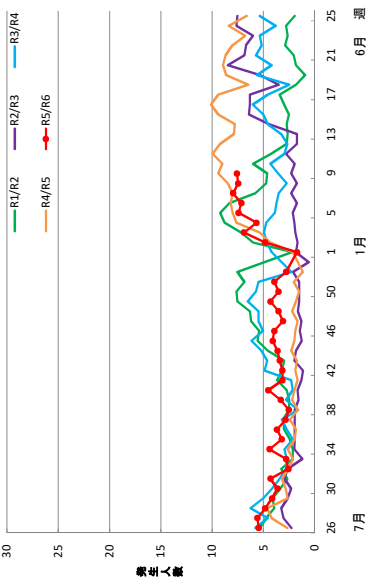


手足口病

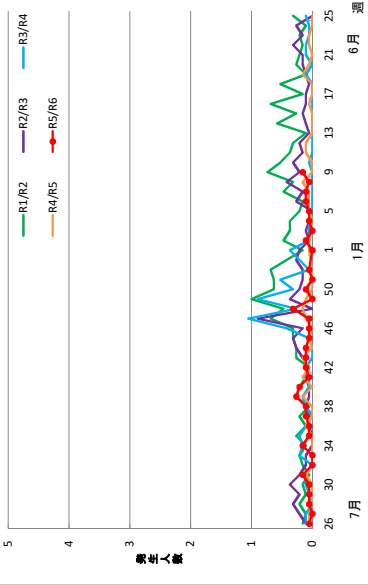


年次別発生状況グラフ(定点当たり)

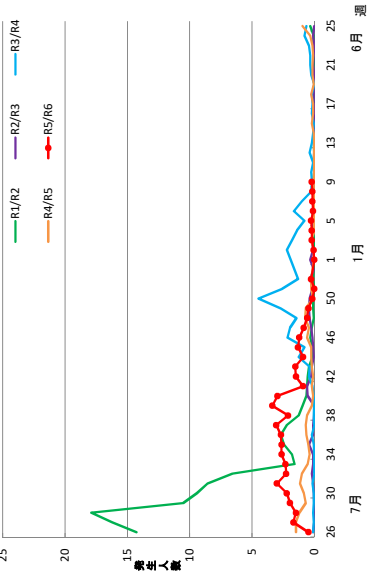
感染性胃腸炎



水痘

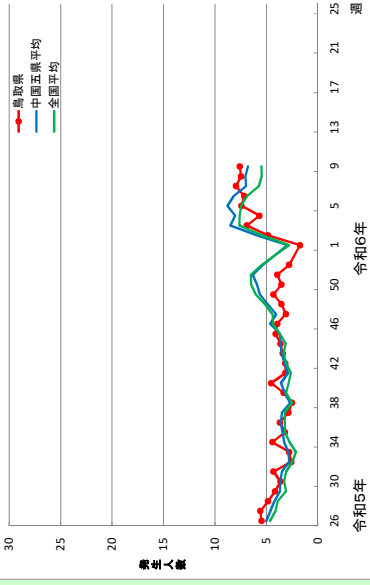


手足口病

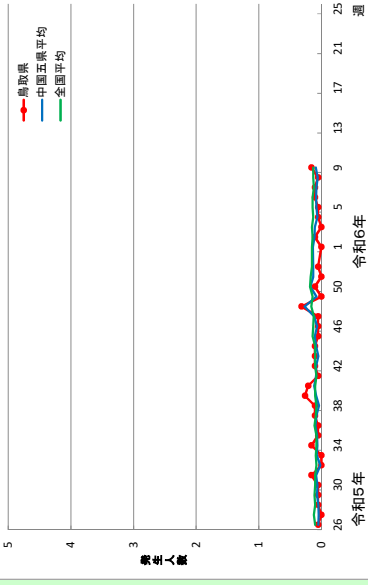


中国五県平均・全国平均との比較(定点当たり)

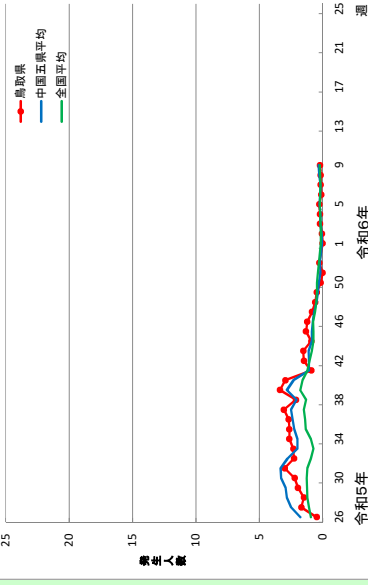
感染性胃腸炎



水痘

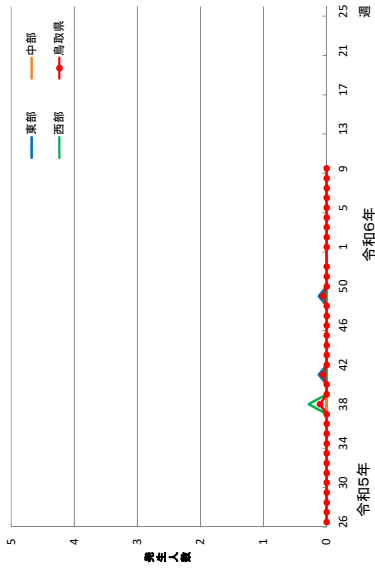


手足口病

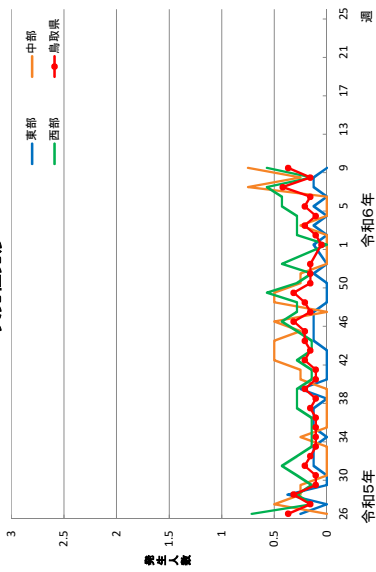


地区別発生状況グラフ(定点当たり)

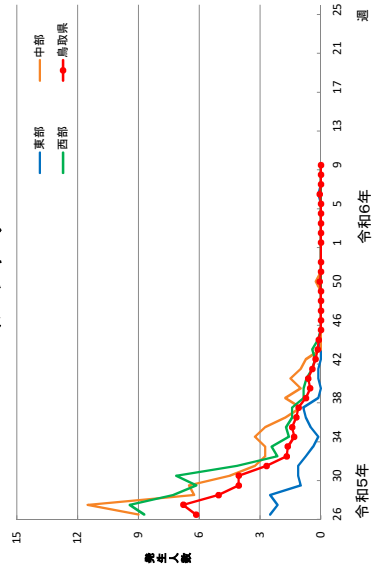
伝染性紅斑



突発性発疹

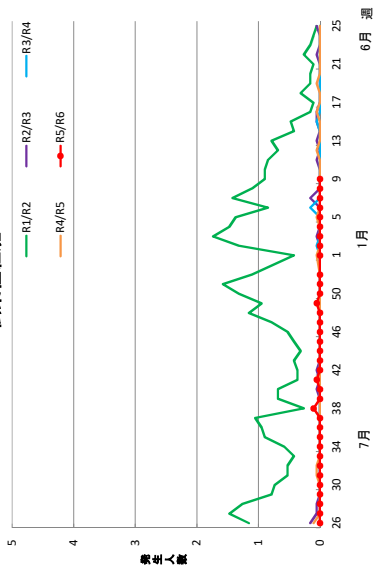


ヘルパンギーナ

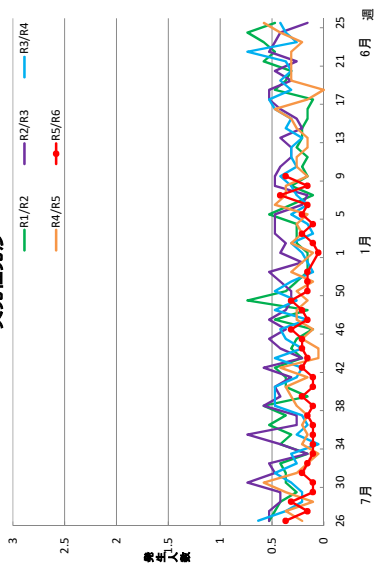


年次別発生状況グラフ(定点当たり)

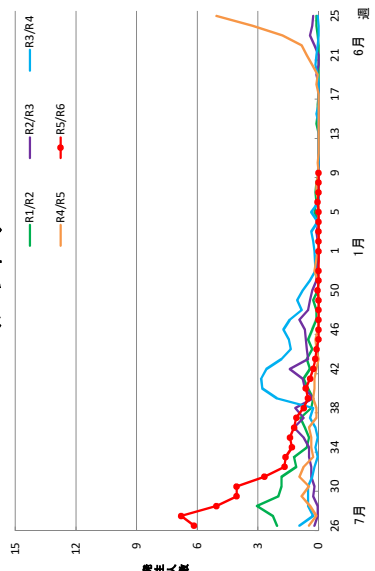
伝染性紅斑



突発性発疹

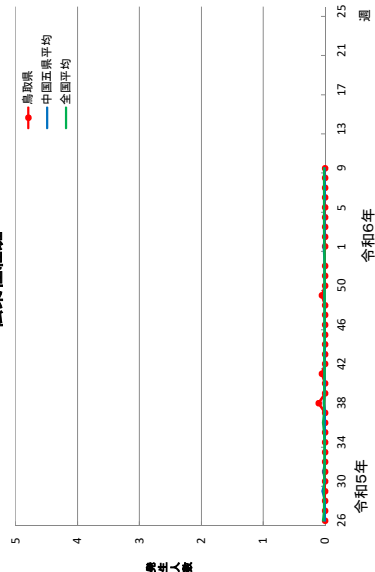


ヘルパンギーナ

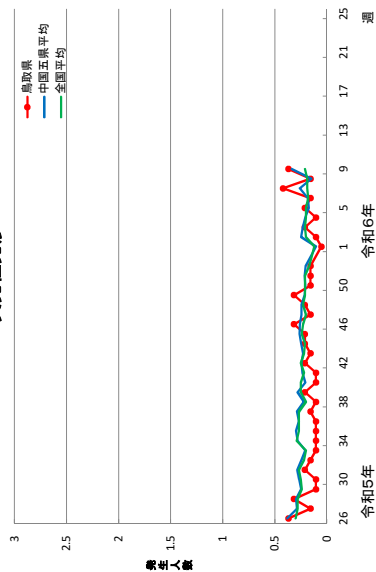


中国五県平均・全国平均との比較(定点当たり)

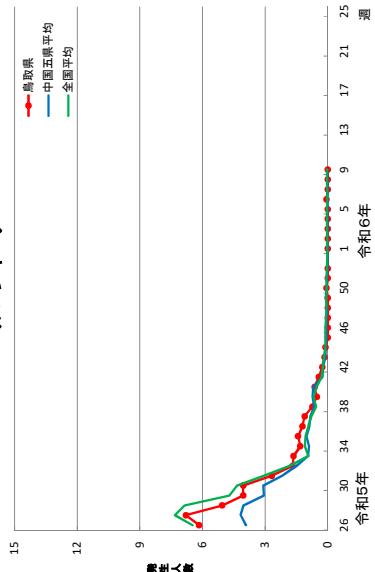
伝染性紅斑



突発性発疹

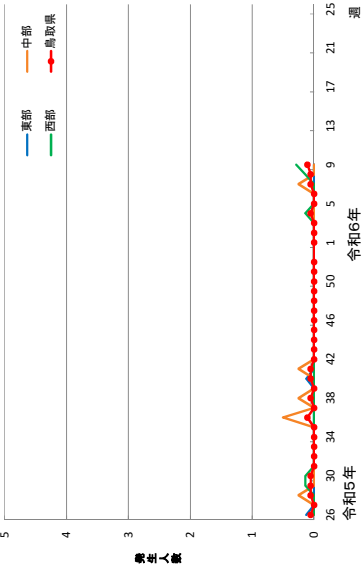


ヘルパンギーナ

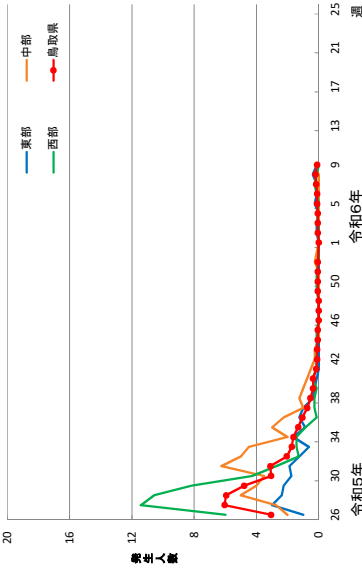


地区別発生状況グラフ(定点当たり)

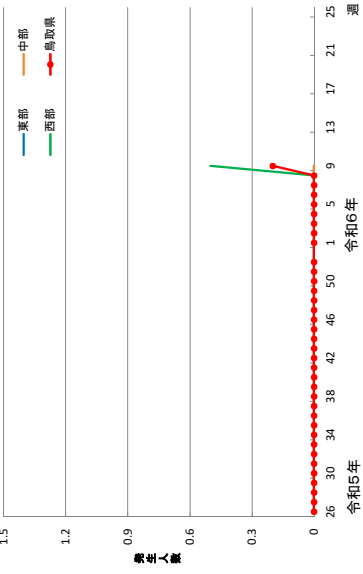
流行性耳下腺炎



RSウイルス感染症

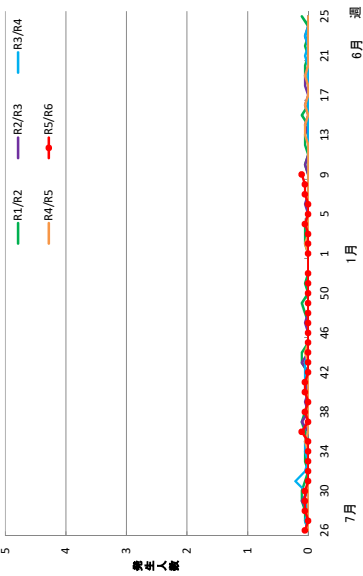


急性出血性結膜炎

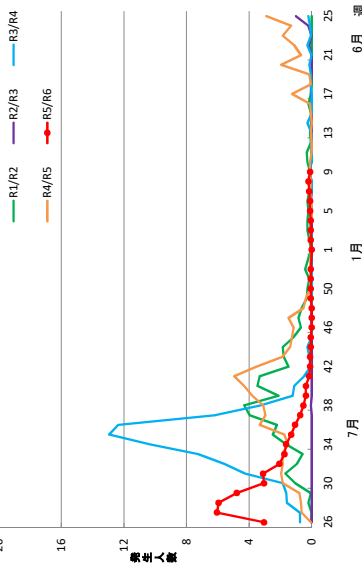


年次別発生状況グラフ(定点当たり)

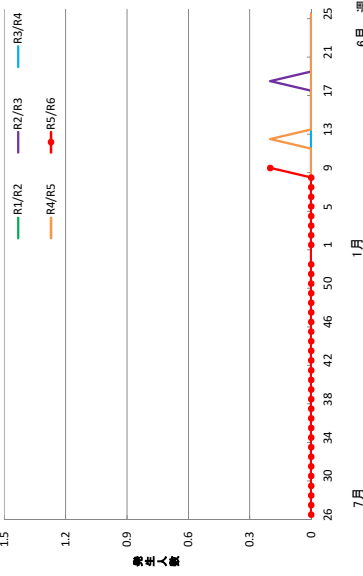
流行性耳下腺炎



RSウイルス感染症

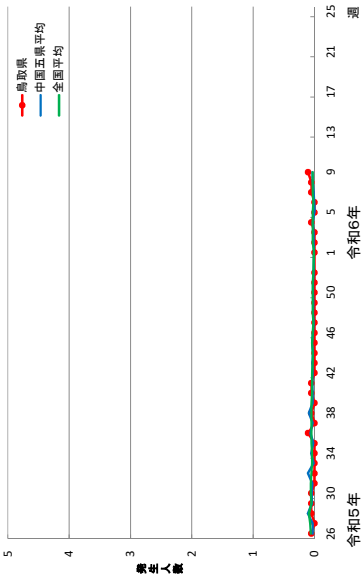


急性出血性結膜炎

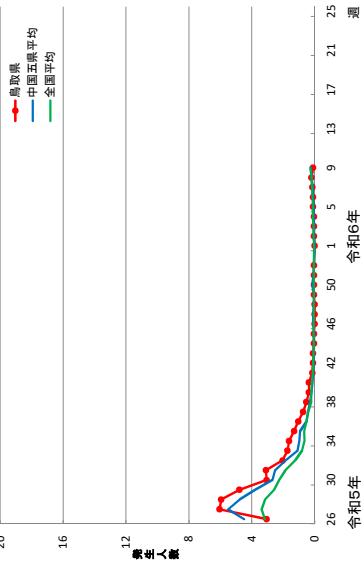


中国五県平均・全国平均との比較(定点当たり)

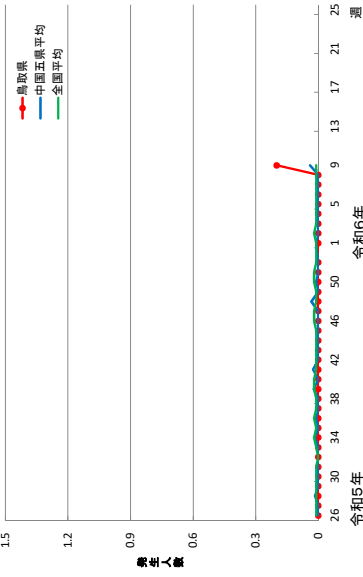
流行性耳下腺炎



RSウイルス感染症

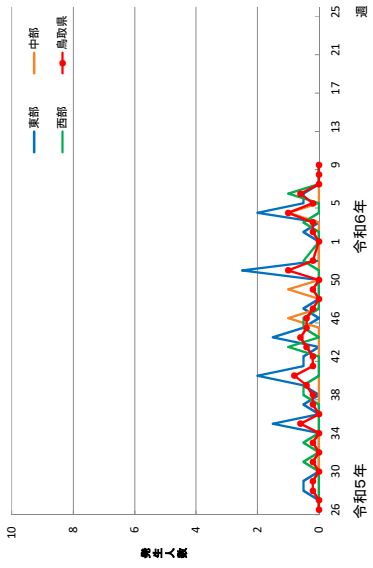


急性出血性結膜炎

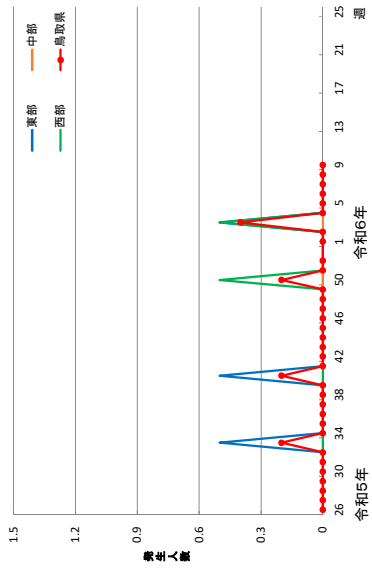


地区別発生状況グラフ(定点当たり)

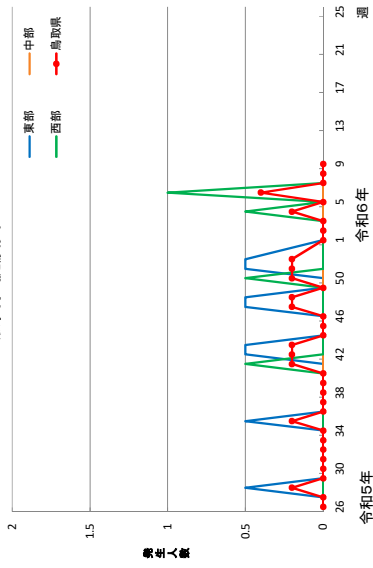
流行性角結膜炎



細菌性髄膜炎

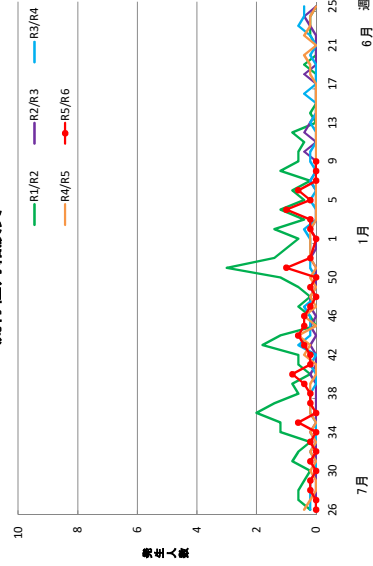


無菌性髄膜炎

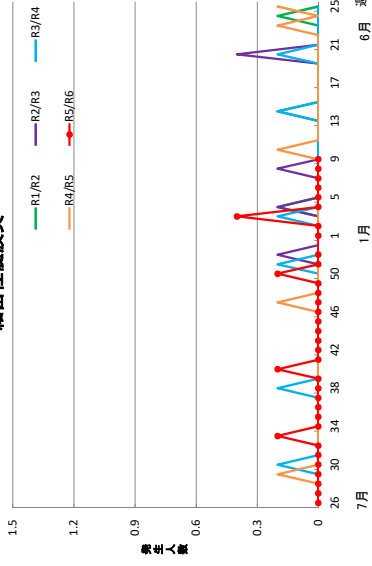


年次別発生状況グラフ(定点当たり)

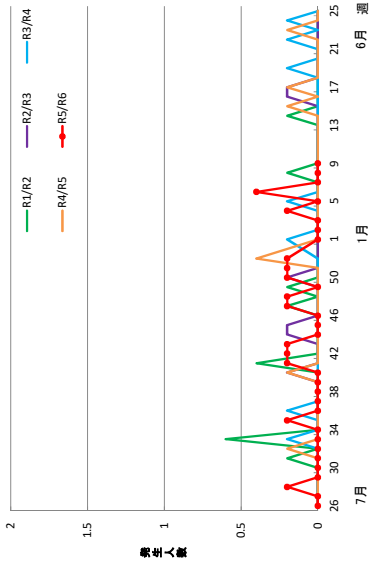
流行性角結膜炎



細菌性髄膜炎

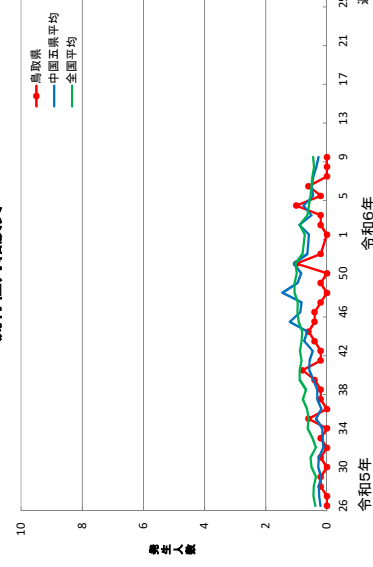


無菌性髄膜炎

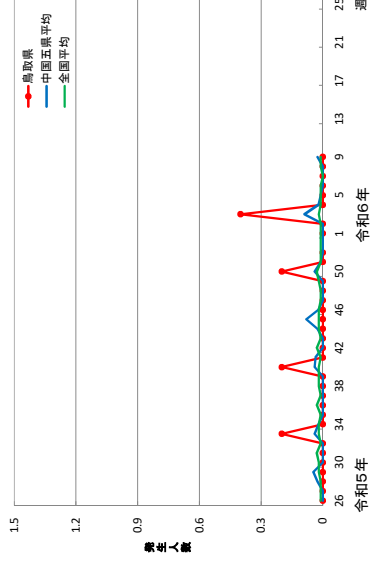


中国五県平均・全国平均との比較(定点当たり)

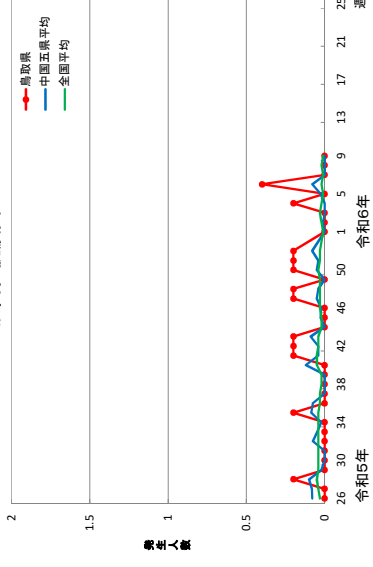
流行性角結膜炎



細菌性髄膜炎

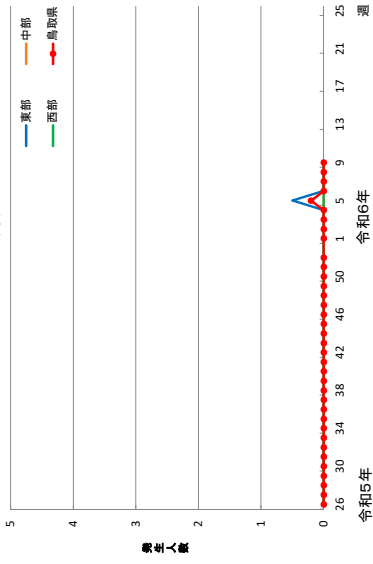


無菌性髄膜炎

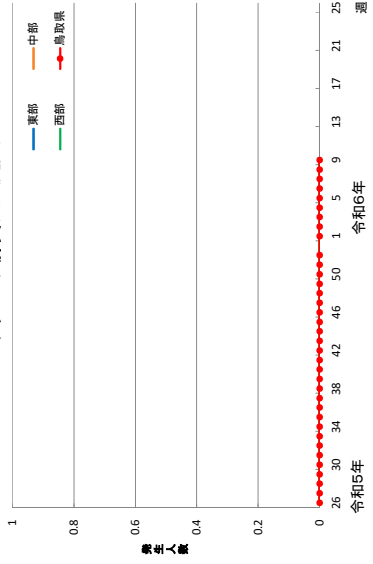


地区別発生状況グラフ(定点当たり)

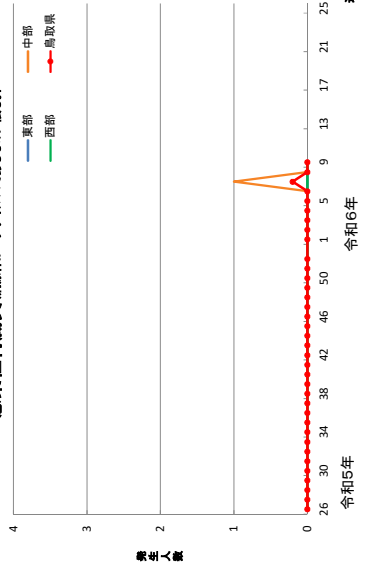
マイコプラズマ肺炎



クラミジア肺炎(オウム腫性肺炎)

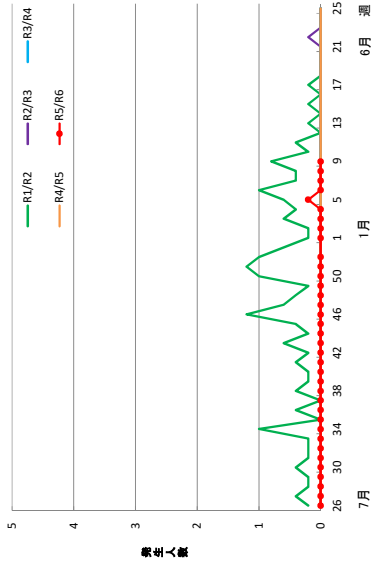


感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)

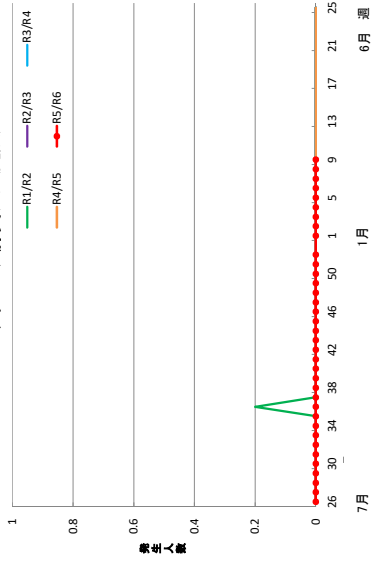


年次別発生状況グラフ(定点当たり)

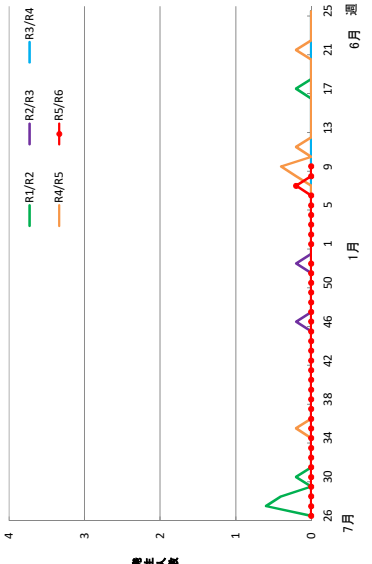
マイコプラズマ肺炎



クラミジア肺炎(オウム腫性肺炎)

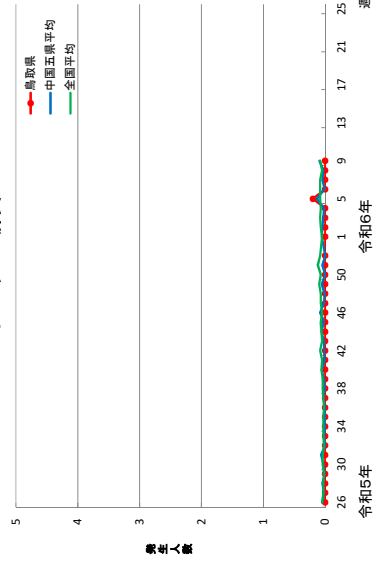


感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)

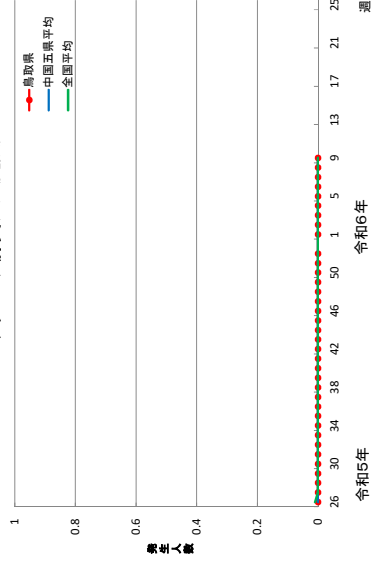


中国五県平均・全国平均との比較(定点当たり)

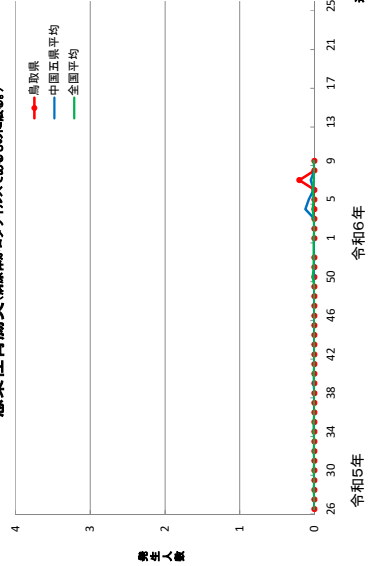
マイコプラズマ肺炎



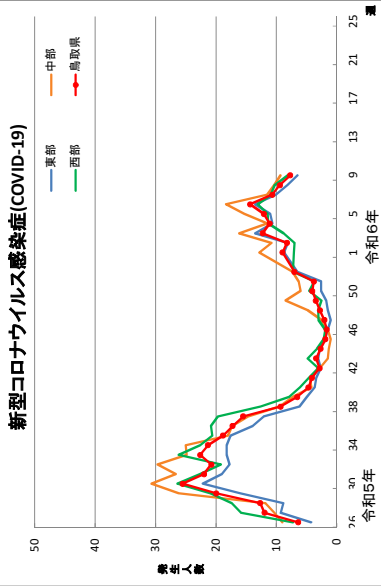
クラミジア肺炎(オウム腫性肺炎)



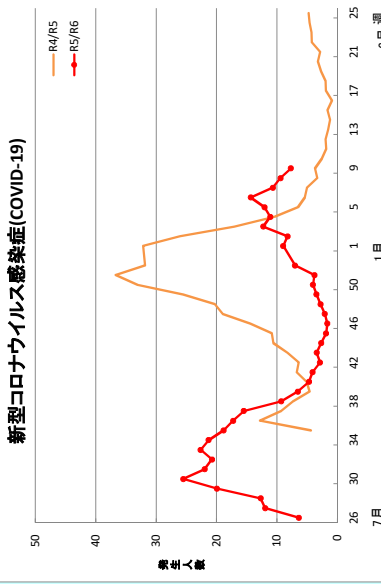
感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)



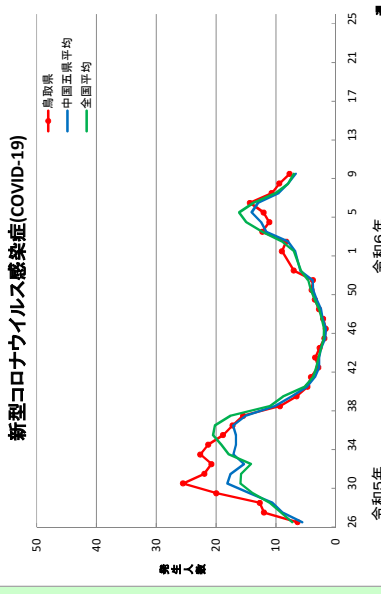
地区別発生状況グラフ(定点当たり)



年次別発生状況グラフ(定点当たり)

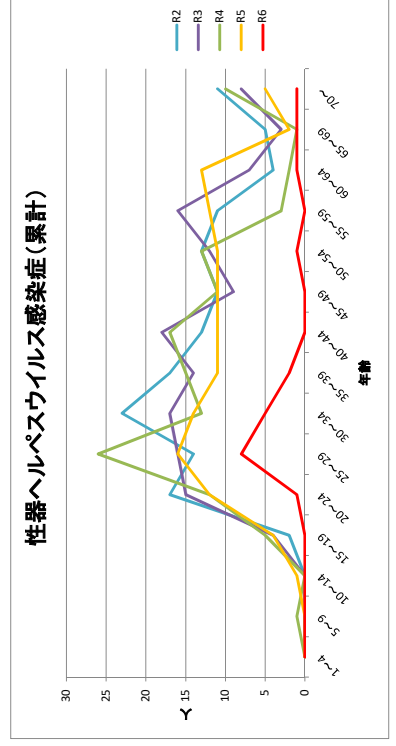
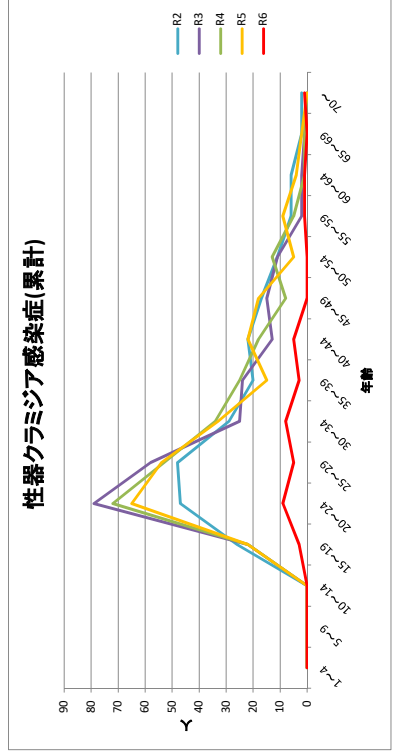
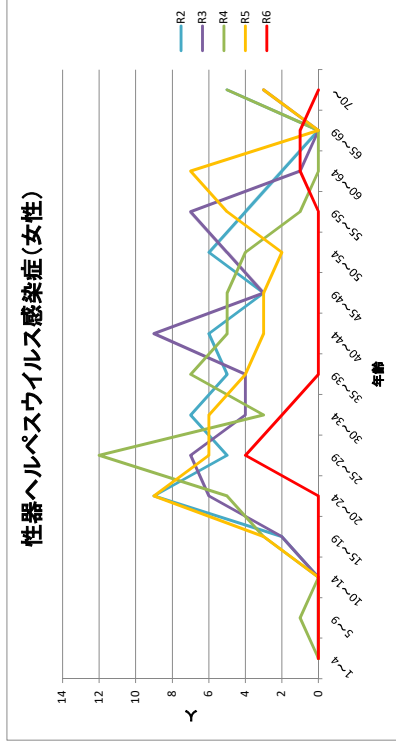
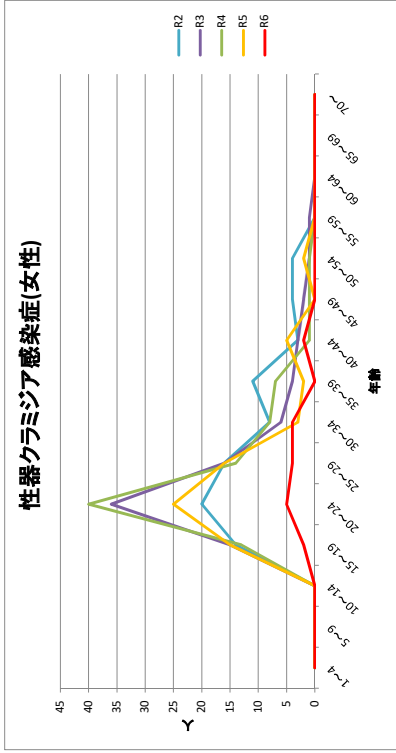
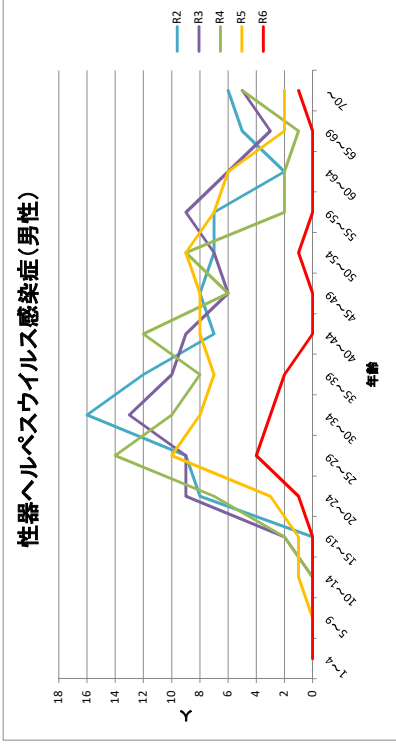
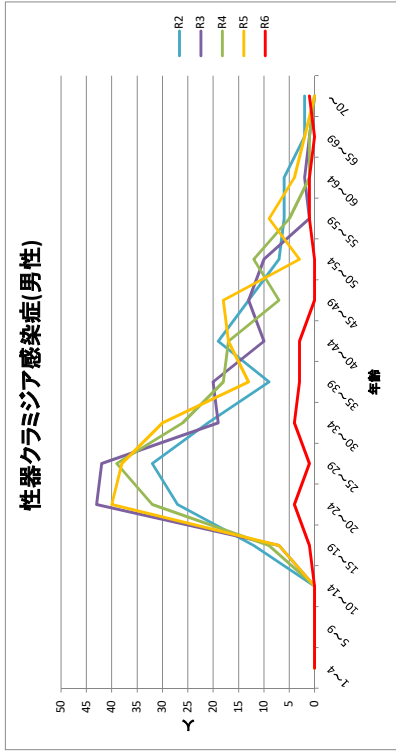


中国五県平均・全国平均との比較(定点当たり)

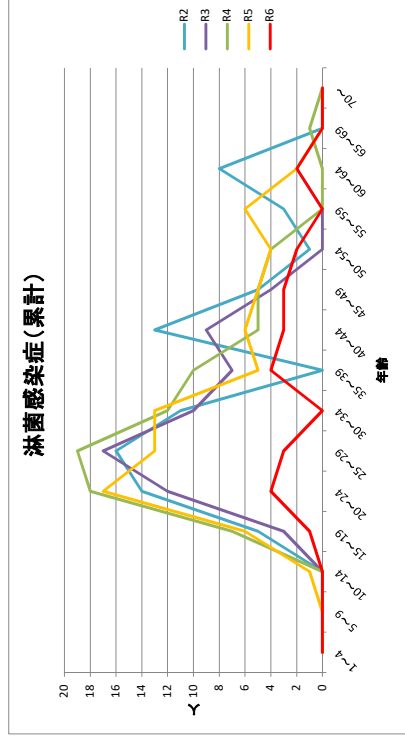
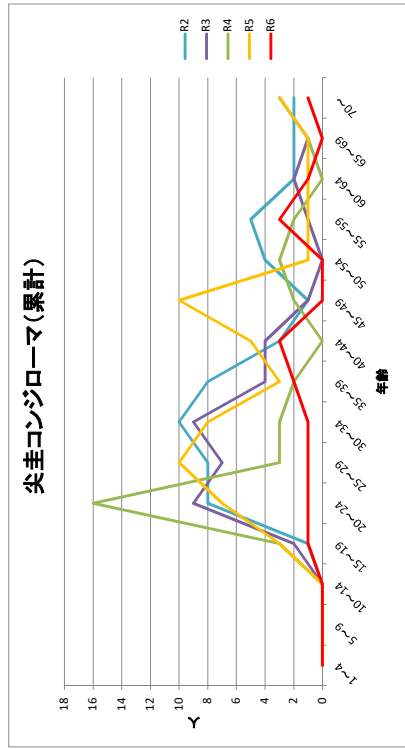
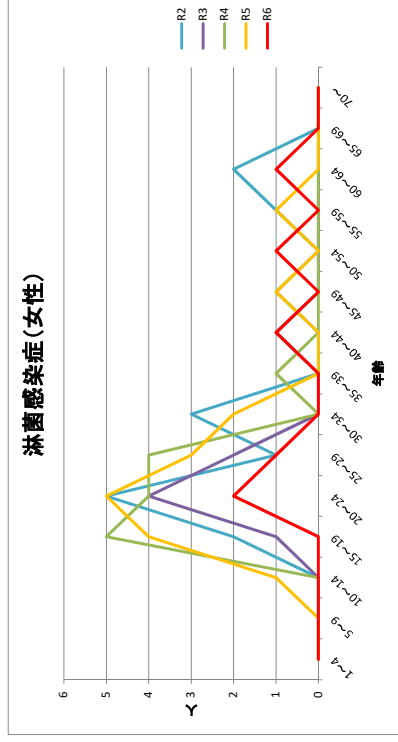
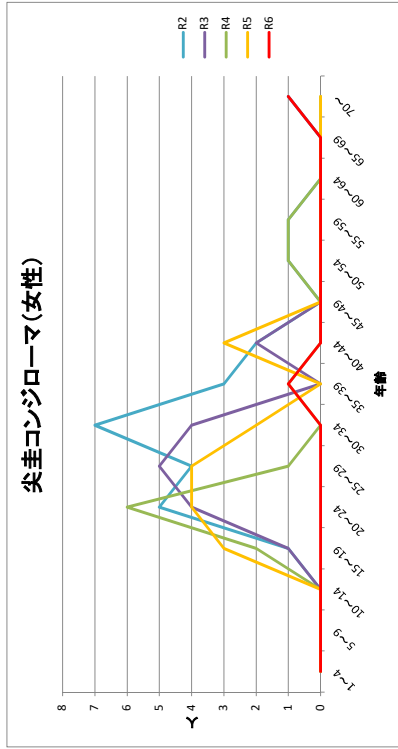
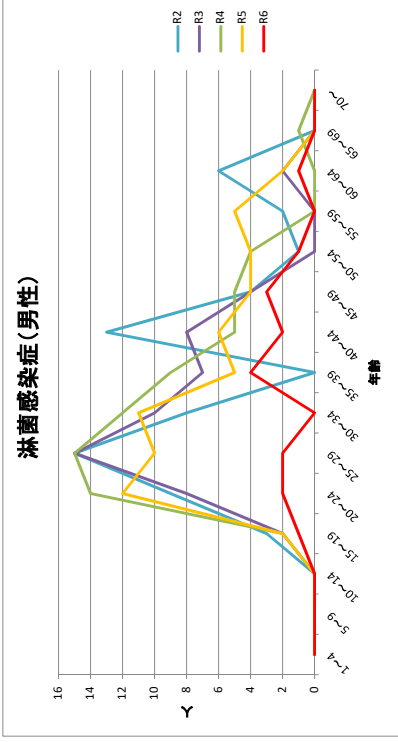
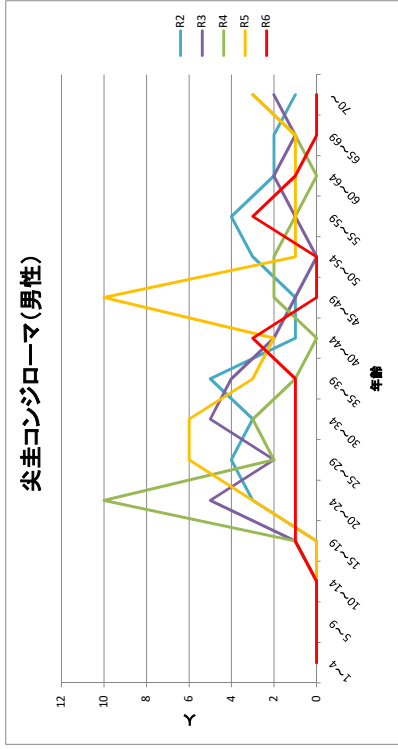


注)令和6年第18週(5/1~5/7)までは全数報告分のうち定点医療機関からの報告件数を元に算出。

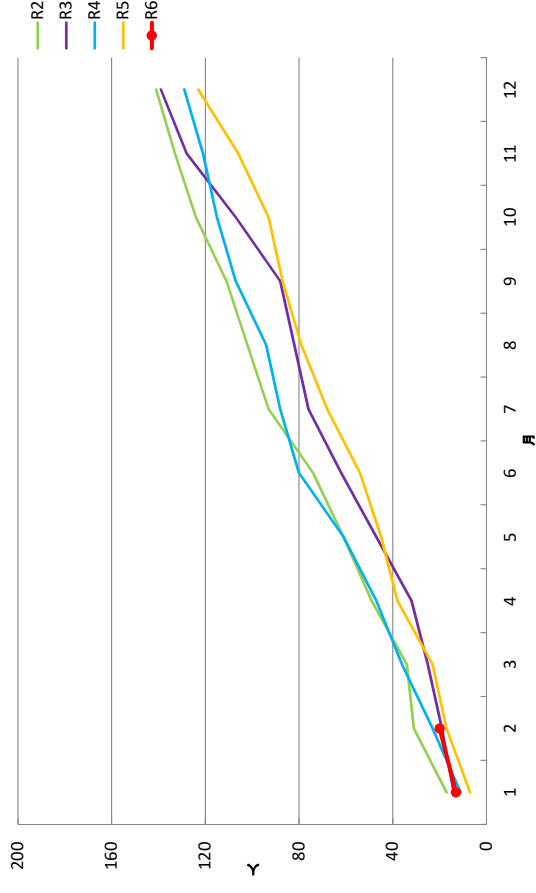
性感染症 年次別・年齢別・男女別累計グラフ



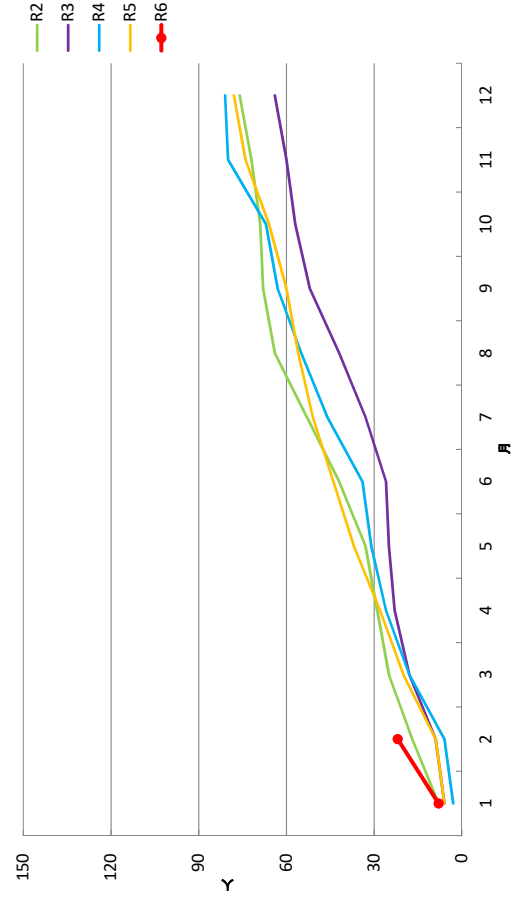
性感染症 年次別・年齢別・男女別累計グラフ



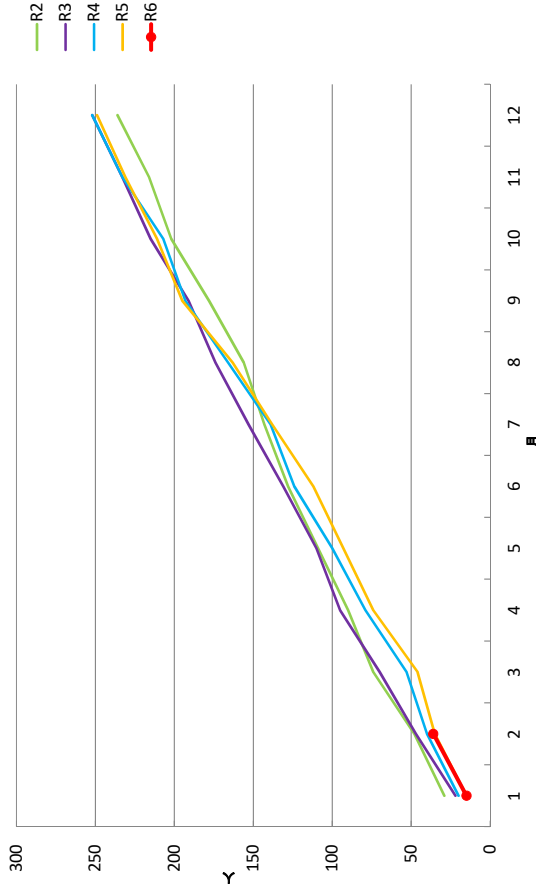
性器ヘルペスウイルス感染症報告状況(累計)



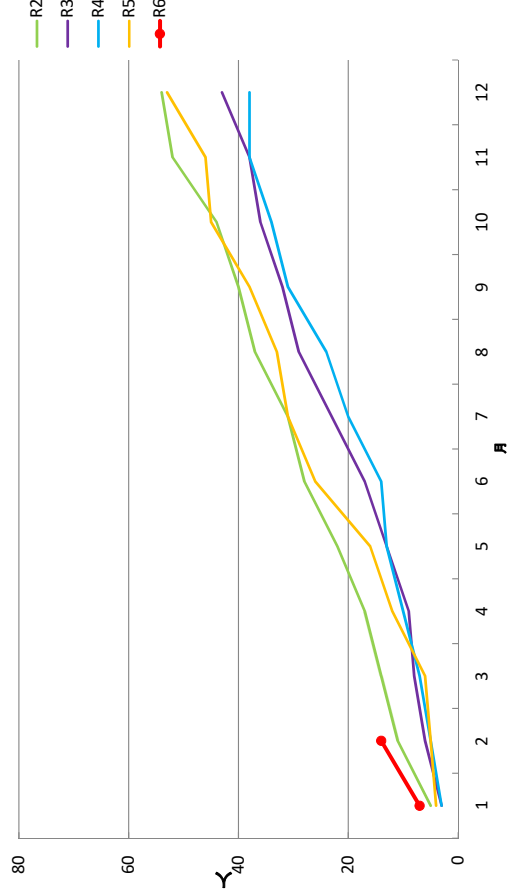
淋菌感染症報告状況(累計)



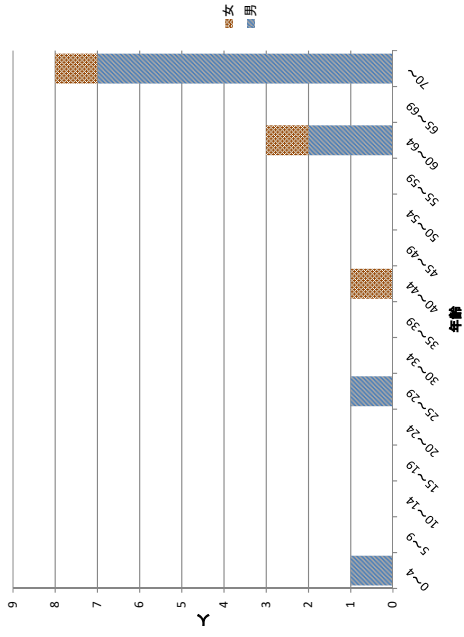
性器クラミジア感染症報告状況(累計)



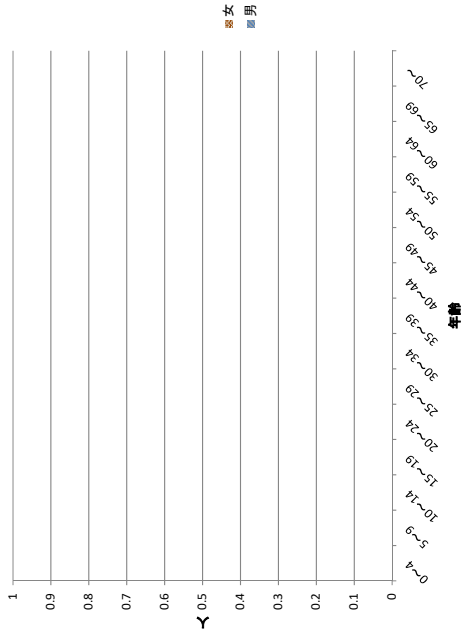
尖圭コンジローマ報告状況(累計)



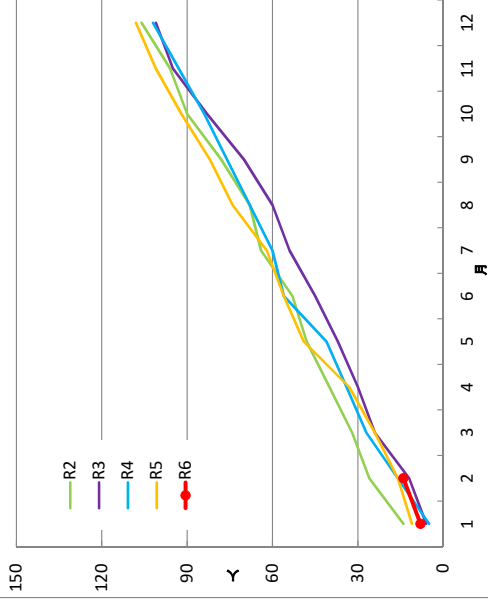
令和6年 メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症
(年齢別累計)



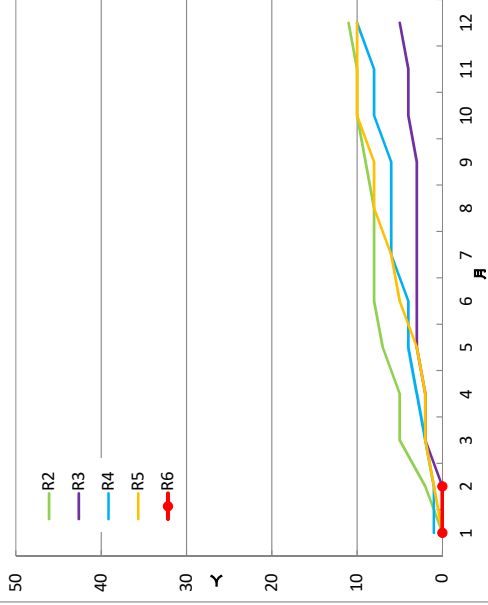
令和6年 ペニシリン耐性肺炎球菌感染症
(年齢別累計)



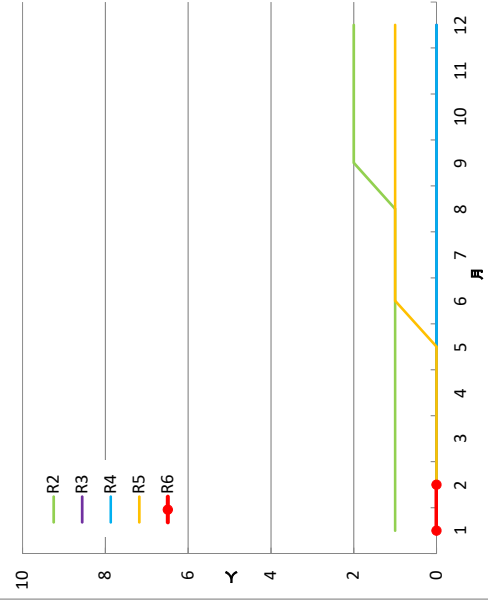
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症報告状況(累計)



ペニシリン耐性肺炎球菌感染症報告状況(累計)



薬剤耐性緑膿菌感染症報告状況(累計)



腸管出血性大腸菌感染症の発生状況

① 月別件数

区分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計	
													2月時点	年間
令和6年		1											1 (0)	1 (0)
令和5年						1		5	9 (3)	2 (2)		2 (1)	0 (0)	19 (6)
令和4年		2 (2)				1	2	3			3 (1)	3	2 (2)	14 (3)
令和3年	1		3 (2)	1 (1)	2 (1)	2 (1)	1 (1)						1 (0)	10 (6)
令和2年			1		2 (1)	7 (1)	2	3 (2)	7 (4)	3 (1)		1	0 (0)	26 (9)
令和元年		1	1		6 (1)	1	2	4 (1)		3 (2)	4	2 (2)	1 (0)	24 (6)
平成30年					3	1	4 (2)	9	4	1			0 (0)	22 (2)
平成29年	1 (1)			1	1 (1)	7 (3)	5 (2)	1			4 (3)	1 (1)	1 (1)	21 (11)
平成28年						5 (4)	3 (1)	6 (1)	1			1 (1)	0 (0)	16 (7)
平成27年						3 (2)	33 (23)	12 (7)	10 (6)	1 (1)	1		0 (0)	60 (39)
平成26年						7 (4)	1	1	1	5 (3)			0 (0)	15 (7)
平成25年		1 (1)			1		6	7 (3)	4 (1)	7 (2)			1 (1)	26 (7)
平成24年						2	1	5 (1)		6 (2)		1	0 (0)	15 (3)
平成23年				1	5 (2)	3 (2)		2 (1)	3 (1)	4 (2)	1	1	0 (0)	20 (8)

② 血清型別件数

区分	O8	O26	O29	O91	O103	O119	O111	O121	O125	O128	O145	O146	O157	型不明	計
令和6年													1		1 (0)
令和5年		1 (1)											17 (4)	1 (1)	19 (6)
令和4年					3							2 (2)	8	1 (1)	14 (3)
令和3年					4 (2)							1 (1)	3 (1)	2 (2)	10 (6)
令和2年	1	4 (2)	1		4 (2)		3 (1)		1 (1)	1		1 (1)	7	3 (2)	26 (9)
令和元年					3 (1)		4 (1)						15 (2)	2 (2)	24 (6)
平成30年		2			3						1		16 (2)		22 (2)
平成29年		1			2 (1)		4 (3)					1 (1)	10 (3)	3 (3)	21 (11)
平成28年		1 (1)											14 (5)	1 (1)	16 (7)
平成27年		40 (28)		1	4 (2)		1					1 (1)	9 (4)	4 (4)	60 (39)
平成26年		7 (4)					5 (3)						3		15 (7)
平成25年		3 (1)						1					21 (5)	1 (1)	26 (7)
平成24年													15 (3)		15 (3)
平成23年		9 (4)			2 (1)								7 (2)	2 (1)	20 (8)

③ 年齢別件数

区分	～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	計
令和6年			1									1 (0)
令和5年	1	2 (1)	1	1	4 (1)	2 (1)	4 (3)	2			2	19 (6)
令和4年	5	1	2	1	1	2 (1)				2 (2)		14 (3)
令和3年	1		1 (1)		1 (1)			1 (1)	1 (1)	3 (2)	2	10 (6)
令和2年	7	2	2	2	1 (1)	4 (4)	3 (1)	3 (3)			2	26 (9)
令和元年	9 (2)	2			4 (2)	2		1 (1)	3 (1)	3		24 (6)
平成30年	2	2			10 (1)	3 (1)	1	2	1		1	22 (2)
平成29年	3 (1)	1	2 (1)	2 (1)		2 (2)	2 (2)	4 (3)	4 (1)		1	21 (11)
平成28年	4	4 (3)		1	2 (1)	3 (2)	1 (1)				1	16 (7)
平成27年	22 (13)	18 (12)	2 (1)	2 (2)	4 (4)	6 (3)	1 (1)	3 (2)			2 (1)	60 (39)
平成26年	6 (1)	3 (1)				2 (2)	2 (2)	1		1 (1)		15 (7)
平成25年	6	2	3 (1)	1	3 (1)	1	2 (1)	1 (1)	2 (1)	3 (1)	2 (1)	26 (7)
平成24年	3	3 (1)	3	1	2	2 (2)			1			15 (3)
平成23年	4 (1)	5			3 (1)	3 (2)		1 (1)	2 (2)	1	1 (1)	20 (8)

④ 地区別件数

区分	東部地区	中部地区	西部地区	計
令和6年		1		1 (0)
令和5年	3	(1)	7 (1)	9 (4)
令和4年	5	(1)	6	3 (2)
令和3年	4	(2)	3 (2)	3 (2)
令和2年	3		15 (5)	8 (4)
令和元年	6	(2)	14 (3)	4 (1)
平成30年	7		5	10 (2)
平成29年	1		8 (4)	12 (7)
平成28年	2	(1)	12 (5)	2 (1)
平成27年	4	(4)	45 (31)	11 (4)
平成26年	1		8 (4)	6 (3)
平成25年	4	(1)	9 (3)	13 (3)
平成24年	7	(2)	1	7 (1)
平成23年			2 (1)	18 (7)

鳥取県病原微生物検出情報

(令和6年2月検出分；検体採取 令和6年1月～2月)

令和6年3月15日
鳥取県衛生環境研究所

1 インフルエンザ

臨床診断名がインフルエンザの検体5件（検体採取1月下旬～2月中旬）について検査を実施したところ、インフルエンザA (N1H1) pdm09型が1件、インフルエンザB ビクトリア系統が3件、インフルエンザB 系統不明が1件検出された。（詳細は表1のとおり）

表1 2023/2024 シーズン鳥取県インフルエンザ検出情報

検体採取時期		検体採取場所	検出数	A型別、B系統別					備考
年	月日			A (H1N1)pdm09型	A H3型	B victoria	B 山形	B 系統不明	
2023	9月11日	西部	1	1	0	0	0	0	
	10月6日	西部	4	0	4	0	0	0	
	11月6日	西部	3	1	2	0	0	0	
	11月9日	東部	1	0	1	0	0	0	
	11月27日	西部	2	0	2	0	0	0	
	11月24日	東部	1	0	1	0	0	0	
	12月6日	西部	1	1	0	0	0	0	
	12月8日	東部	1	0	1	0	0	0	
	12月18日	西部	2	1	1	0	0	0	
	12月20日	西部	1	0	1	0	0	0	
	12月23日	西部	1	0	1	0	0	0	
2024	1月17日	西部	1	1	0	0	0	0	
	1月19日	西部	1	1	0	0	0	0	
	1月22日	西部	1	1	0	0	0	0	
	1月23日	西部	1	0	0	1	0	0	
	1月22日	中部	1	0	0	1	0	0	今回報告分
	2月5日	西部	2	1	0	0	0	1	今回報告分
	2月6日	西部	1	0	0	1	0	0	今回報告分
	2月15日	西部	1	0	0	1	0	0	今回報告分
病原体定点PCR検査合計 (2023/9/4～現在)			27	8	14	4	0	1	

全国のインフルエンザ患者から分離・検出されたウイルスについては、国立感染症研究所の病原微生物検出情報（3月6日作成）によると、2023/24 シーズンはAH3型が最も多く検出されており、次いでA(H1)pdm09型が検出されている。また第1週以降、B ビクトリア系統の検出割合が増加している(図1)

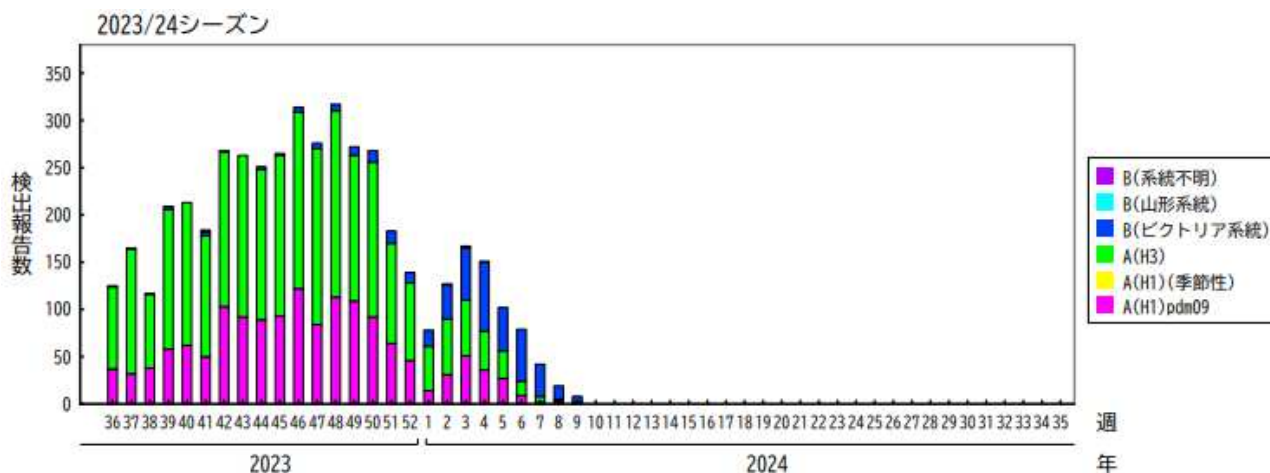


図1 週別インフルエンザウイルス分離・検出報告数 (2023/24 シーズン)

出典：国立感染症研究所病原微生物検出情報 (2024年3月6日作成)

2 感染性胃腸炎

臨床診断名が感染性胃腸炎の検体4件について検査を行ったところ、ノロウイルスGⅡ型が3件、サポウイルス(型別不明)が1件、アデノウイルス(41型)が1件検出された。(詳細は表2のとおり)

表2 感染性胃腸炎検査状況

検体番号	検体採取時期	ノロウイルス	サポウイルス	A群ロタウイルス	C群ロタウイルス	アデノウイルス	アストロウイルス	エンテロウイルス
230098	1月中旬	(-)	(-)	(-)	(-)	検出(41型)	(-)	(-)
230099	1月中旬	検出(GⅡ)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
230100	1月中旬	検出(GⅡ.4[P16])	検出(型別不明)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
230101	1月中旬	検出(GⅡ.7[P7])	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
検出計		3件	1件	0件	0件	1件	0件	0件

(-)：未検出

3 流行性角結膜炎

臨床診断名が流行性角結膜炎の検体1件(検体採取1月中旬(検体番号230102))について検査を実施したところ、アデノウイルスは検出されなかった。

